

あなたが支える市民活動応援事業実績報告書

68

大分市長 足立 信也 殿

所在地 大分市花津留2-15-8
団体名 大分市表千家こども茶道教室
実行委員会
代表者氏名 出田 昌子
電話番号 097-558-7210
担当者名 [REDACTED]
担当者連絡先 [REDACTED]

あなたが支える市民活動応援事業補助金交付要綱第13条の規定により、下記のとおり報告します。

記

1. 交付決定年月日	令和 5 年 8月28 日
交付決定番号	協働第 1080 号
2. 事業名	こども茶道教室
3. 補助金の交付決定通知額	189,300 円
4. 補助金の概算交付額	0 円
5. 補助金の精算額	163,896 円 Δ25,404

6. 事業の成果

小・中・高生を対象に伝統文化の茶道の活性化（普及と継承）を目的に「こども茶道教室」にて、年10回に亘って受講生（延べ152名）に茶道（合理的な精神やおもてなしの心）の作法やお点前を実技指導する。併せて、お稽古を通して日常生活にも通用し活かされるよう指導する。受講生も実技内容（事業報告書を参照）の通りに習練した成果が、7月16日の学校茶道合同茶会（表千家同門会大分支部主催）に参加、茶席3席を担当し体験出来た事茶道教室の終了日の保護者参観の下、受講生のお点前で客の保護者の皆様にお茶お菓子をいただいてもらう事も出来たこと等々に見られ、また、継続して受講の子供達が増え、将来継承者として育ちつつあることも成果が見られた。今後も本事業を推進し、伝統の茶道文化の活性と共に地域の活性化のためにも協力して参りたいと思っています。

7. 添付書類 (1)あなたが支える市民活動応援事業補助金申請事業報告書
(2)あなたが支える市民活動応援事業補助金申請事業収支決算書
(3)その他市長が必要と認める書類

(この内容は、大分市のホームページ等で公表いたします。)



あなたが支える市民活動応援事業補助金申請事業報告書

団 体 名	大分市表千家こども茶道教室実行委員会			
事 業 名	こども茶道教室			
主な活動地域 ※該当する□に チェックしてく ださい。	☒ 市内全域 ☐ 大分中央 ☐ 大分東部 ☐ 大分西部 ☐ 大分南部 ☐ 南大分 ☐ 鶴崎 ☐ 大南 ☐ 植田 ☐ 大在 ☐ 坂ノ市 ☐ 佐賀関 ☐ 野津原 ☐ 明野			
実施時期 実施場所 実施内容 (目的・経過等) ※別紙添付可	時期 (月)	実施場所	受 益 対象者数	実 施 内 容 ※目的・経過等をできるだけ詳細に
	5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 令和6 1月 2月	コンパル ホール 2階 茶 室 (14畳 ・8畳)	152人 (延べ 人数)	3月中旬から小中高生を対象に口コミ等により受講生を募集。4月末募集締切り後も随時募集し受講生を受け入れる。 5月13日(土)「こども茶道教室」を開講、月1回(第2土曜日)年10回、受講日の時間割(9~10時・茶室設え・受付、10~12時・実技、12~13時・茶室茶道具片付け)によりコロナ禍の状況に対応しながら実施。受講生を年長組(小4年生以上)は茶室14畳で、年少組(幼稚園生含)は茶室8畳にて講師12名で茶道文化の活性化(普及・継承)を目的に実技(下記)指導する。 実技内容・立ち居ふるまい(おじきの仕方、座り方、立ち方、まわり方、歩き方)、基礎割り稽古(袱紗捌き、茶器茶杓の拭き方、茶筌通し、茶巾のたたみ方)お茶お菓子のいただき方、席入り(茶室の入り方、床の間の掛軸・花・花入れの拝見)や茶道具の拝見の仕方・扱い方等の客の作法、略盆点前、炉・風炉の薄茶点前を繰り返し習練する。毎回、床の間の掛軸、花、花入れやお菓子、茶道具等四季折々の節目や行事に因んだものを取り入れる。掛軸の字句、読み方や意味、茶花の名前等をわかり易く説明し茶道にまつわる話をする。尚、実技中はマスク着用、亭主と客が対面し交互にお茶を点て合いいただく。(コロナ防疫緩和に付、自服を止める) 7月16日、学校茶道合同茶会(高校生対象)に参加(茶席3席を担当、薄茶点前、略盆点前、お茶お菓子のお運びを体験する) 令和6年2月10日受講終了日、保護者参観のもと、式典(修了証の授与)に通常のお稽古をもって終了(閉講)する。保護者の皆さんにはお客になっていただき受講生のお点前でお茶お菓子をいただいていた。
使用した 広報手段と その効果	☐ ホームページ ☐ チラシ、広報誌 ☐ facebook等のSNS ☒ その他(具体的に) 例年と同様に前年度、受講した子供達と保護者や友人への口コミ、ハガキによる受講案内のほか会員(講師)の友人知人、同好会への声掛けや口コミ等により受講募集をする			
	広報の効果 前記の広報手段(受講生、保護者への口コミ、ハガキによる受講案内)により、目標定員数20名に対し19名の受講生を確保するが中学生の数人が部活や授業の土曜日実施により受講取り止めや緩和下のコロナの影響も多少あり目標数の定員割れとなる(受講申込み者17名)			
活動目標の報告	会費収入、事業収入や寄付金収入等の自己収益金の拡大、参加市民等の受益対象者の増加目標に取り組んだ結果 上記の広報手段やその効果のとおり会費収入の定員以上の増員不可に付増収出来ず自己収益金の拡大も受益者(受講生)の増加も困難で結果として現状を維持しつつ取り組む。			

事業の成果	地域への効果について（対象地域にどのような効果があらわれたのかを記入） 引き続き本年も緩和下にあるコロナの影響等で地域のイベントの自粛で縮小や中止により市民の皆様が茶道文化に触れる機会（平和市民公園の人と緑のふれあい茶会）が中止となり「茶道教室」の受講生の体験参加や茶道を通しての地域への貢献、活性化等交流の機会がなかったことにより実績がなく効果得られず。 市民への効果について（市民福祉の向上にどうつながったのかを記入） 「茶道教室」の受講生は市内の明野をはじめ6校区の小・中学生で保護者共に茶道の合理的な精神やおもてなしの心が日常生活にも活かされ通用することを理解し、作法やお点前の動作に合理的で無駄なく相手を思いやる心が実技（前頁）に込められ、繰り返し稽古し継続することによって自然と身に付いたものが受講生の自身の成長過程の中で様々な場面や形となり活かされると思う。また、本事業の成果として、継続して受講している子供達が増え、将来の継承者として育ちつつある。
来年度に向けた課題	引き続き、受講生の募集には前年実施した広報活動（継続して受講の子供達、保護者への口コミ、ハガキによる受講案内等）により、目標受講者数（20名、延べ200名）の確保に努めるがコロナ禍の影響が多少あること、少子化等に期間中の増減員に、随時募集活動に見学体験の声掛けをし、受講生を受け入れ受講率を高める。実技内容もコロナ対策を改め、本来の指導方法で「茶道教室」を運営する。

あなたが支える市民活動応援事業補助金申請事業収支決算書

事業名: こども茶道教室

1 【収 入】

(単位: 円)

項 目	金 額	説 明 (積算等)
補助金収入	163,896	あなたが支える市民活動応援事業補助金
会費収入	45,600	こども茶道教室参加会費300円×152名
事業収入		
寄附金収入		
そ の 他	68,296	会員負担金
合 計	277,792	

2 【支 出】

(単位: 円)

項 目	金 額	説 明 (積算等)
謝 金	/ 80,000	講師謝金10回分10,000円×8名
原材料費	/ 103,677	抹茶代 5缶 21,545円 菓子代 64,982円 茶筌代 5本 6,250円 紙茶巾代 25袋 6,300円 懐紙代 5束 1,500円 柄杓代(風炉用) 3,100円
消耗品費	/ 4,425	プリンターインク代 1,980円 文具代 1,395円 (コピー用紙、ファイル、封筒他) 感染症防疫用品代 1,050円 (除菌ティッシュ、ゴミ袋他)
通信運搬費	/ 41,700	切手代 180円 葉書代 2,520円 コンパル駐車料金 39,000円 (5/8~2/10)
会 場 費	/ 47,990	コンパルホール使用料 39,890円 茶室(14畳、8畳)冷暖房料含む 茶道具借料 8,100円 (1点50円×162点)
保 険 料		
合 計	277,792	

備考 補助金の交付対象となる事業に要する経費を記入